

## 草の根技術協力（地域活性型）事業概要

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 事業名	ベトナム国ダナン市における一般廃棄物の分別・回収促進モデル事業 ヨコハマG30・3R夢（スリム）の水平展開（地域活性化特別枠）
3. 事業の背景と必要性	<p>ダナン市では経済発展と人口増加及び観光客増加に伴い、廃棄物処分量も増加し、廃棄物の発生量は2019年には年間41.8万トンまで増加すると予測されている。（IGES推計）。ダナン市廃棄物管理公社（URENCO）が回収する廃棄物は埋立処分場で処分されておりリサイクル量はわずかである。ダナン市で唯一のKhanh Son最終埋立処分場は、2020年に満杯になると予測されてきたが、ダナン市による必死の取り組みにより満杯直前で踏みとどまっている。他方で、状況が改善した訳ではなく、分別、リサイクルの推進を通じたごみ排出量の削減が緊急の課題となっている。</p> <p>横浜市とダナン市では、2014年12月に「ダナン都市開発フォーラム」を設立し、以来、廃棄物処理を含む環境改善の方向性等について定期的な協議を行ってきた。2017年には、ダナン市廃棄物管理マスタープランに基づき、JICA 草の根技術協力事業「家庭系廃棄物の分別促進モデル事業-ヨコハマG30/3R夢（スリム）の水平展開-」（第一期）が開始された。この活動を通じて横浜市及びIGESは、ダナン市関係者と共にダナン市の廃棄物フロー等を明らかにした。2019年4月にダナン市人民委員会により、ダナン市全域を対象とした「固形廃棄物排出源分別条例」が策定されたことを受け、同年9月に横浜市で開催された第9回ダナン都市開発フォーラムでは、ダナン市天然資源環境局長から、横浜市及びIGESに対して、第一期プロジェクトの活動成果に対する感謝と共にダナン市が直面している廃棄物管理に対する困難な課題に対して継続的な支援の依頼があった。</p>
4. プロジェクト目標	ダナン市における一般廃棄物の分別収集から処理までの敵性管理の仕組み及び持続可能な資源循環システムの基盤が構築される
5. 対象地域	ダナン市
6. 対象地域を管轄する在外公館（大使館、領事館、領事事務所）	在ベトナム日本国大使館、在ダナン日本国総領事館
7. 受益者層（ターゲットグループ）	<p>直接受益者：ダナン市天然資源環境局（DONRE）職員、ダナン市都市環境公社職員</p> <p>間接受益者：ダナン市民</p>
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ダナン市における一般廃棄物管理に関するデータ収集及び活用手法を確立する。</li> <li>モデル地区における一般廃棄物の収集体制強化のためのパイロット事業を実施する。</li> <li>ダナン市における廃棄物管理マスタープラン（Solid Waste Treatment in Da Nang City 2030 with the Vision to 2050）の改訂に向けた提言を行う。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>1-1：ダナン市関係部局（天然資源環境局、計画投資局、URENCO等）及びコミュニティ、民間事業者等で組織するタスクフォースチームを設置する。</p> <p>1-2：ダナン市が実施しているコロナウィルス感染症対策を含む一般廃棄物管理に関する既存の情報、データ、報告書等のレビューを行う。</p> <p>1-3：横浜市は、ダナン市職員・関連団体職員を招聘し、データ管理手法及びその活用方法及び廃棄物管理におけるコロナウィルス感染症対策等に関</p>

	<p>する本邦研修を実施する。1-4：ダナン市におけるコロナウィルス感染症対策を含む一般廃棄物に関するデータを収集、分析、評価する。</p> <p>1-5：ダナン市における最適な一般廃棄物の収集、運搬、リサイクル、及び各フローにおけるコロナウィルス感染症対策等のあり方について検討する。</p> <p>1-6：ダナン市におけるプラスチック汚染（マクロ／マイクロプラスチック）について、係るノウハウを持つ横浜市関連企業と調査を行う。</p> <p>2-1：上記 1-4、1-5 で同定されたダナン市における一般廃棄物に関するデータや情報に基づき、パイロット事業の実施計画を策定する。</p> <p>2-2：タスクフォースチームはモデル地区を選定し、横浜チームと共に 2-1 で計画された住民参加を含むパイロット事業を実施する。</p> <p>2-3：タスクフォースチームは、成果 1 で策定されたモニタリング手法を用いてパイロット事業の効果を評価する。</p> <p>3-1：持続可能な廃棄物管理に係る活動や指標について、「ダナン市環境 10 年計画」の議論にインプットする。</p> <p>3-2：活動成果進捗報告を目的とした「ダナン市における持続可能な廃棄物管理に関するワークショップ／会合」を開催する。</p> <p>3-3：プロジェクト活動の成果をもとに、ダナン市における廃棄物管理マスタープランの改訂に関する提言を取り纏める</p>
9. 実施期間	2022 年 3 月～2025 年 2 月（2 年 11 ヶ月）
10. 事業費概算額	82,183 千円
11. 実施体制	<p>1) 日本側</p> <p>①業務従事者の配置（現地及び国内）</p> <p>②本邦研修受入：6 名×2 回。但し感染症の状況次第ではオンラインによる実施へ変更を想定。</p> <p>③設備・機材：廃棄物収集拠点等における重量計、廃棄物回収拠点等におけるごみ質測定のための器具・機械等、地域の収集・啓発活動における物品等</p> <p>2) ベトナム国側</p> <p>①相手国政府関係機関：ダナン市人民委員会</p> <p>②カウンターパート機関：ダナン市天然資源環境局</p> <p>③案件実施のためのサービスや施設、現地経費の提供：日本の専門家のためのオフィススペース、会議室、事務用家具、通信機器等、パイロットプロジェクトにおける機器等利用許可等</p>
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名・提案自治体	横浜市（指定団体：公益財団法人地球環境戦略研究機関）
2. 活動内容	<p>2014 年 ～ 「ダナン都市開発フォーラム」の開催</p> <p>2017-2019 年 JICA 草の根技術協力事業「家庭系廃棄物の分別促進モデル事業-ヨコハマ G30/3R 夢（スリム）の水平展開-」実施</p>